

図書館だより

2018年9月1日
第95号
成田高等学校
図書委員会
成田市成田 27

卒業生の

職場を訪ねて

図書部長 吉田 純子

本校は、10月に創立120周年を迎える。明治31年（1898年）の「成田中学校」創立の年から起算されるが、明治20年（1887年）にはその前身となる「成田英漢義塾」が設立されているから、ここから数えると本年は131年目になる。

この間、3万余名の若者が本校を巣立ち、社会の一員として活躍してきたことは、本校の教育活動が着実にその時代を担う有為な人材を育成してきたことを顕著に物語っている。

さて、中学生や高校生にとって最も大切な、将来の進路について考察するきっかけ作りを企画して始めた、図書委員会・図書館だより班が卒業生を職場に訪ね、取材を行うこの企画は4回目を数える。

これまでに本紙で取材を行ったのは、第91号で全日本空輸（ANA）客室乗務員の石居苑子さん（平成17年卒業）、第93号では警視庁のトップである警視總監の高橋清隆さん（昭和50年卒業）、自衛隊中央病院第三内科部長の青野茂昭さん（昭和57年卒業）、94号で司法書士法人ふらっと代表社員の菊地裕文さん（平成8年卒業）、日本航空（JAL）に客室乗務員として勤務する金川浩子さん（平成16年卒業）である。

今号では、高校69回生（平成29年卒）卒業生の防衛医科大学医学部看護学科2年の黒田悠里亜さん、また成田老舗酒店滝澤酒店女将滝澤昌江さんのお二人を取材することができた。



黒田 悠里亜さん

卒業生に目を向けたい看護学科課程の4年制化

防衛医大・自衛隊では、広範囲多機転・国際化・国際活躍の高度化・複雑化に十分に対応し得る看護の高度・高度化を推進するための、平成28年度に防衛医科大学校に4年制の「看護学科」が新設された。卒業時には看護士として、独立行政法人大学改革推進等支援事業（看護学科）の認定が期待できます。

看護学科（自衛官候補看護学生）の紹介

学生は専攻：野防医科看護学
学 号：1143004（平成29年2月1日発給）
科 号：年立第1期（13期）
学 期：1年次
学 年：1年次
学 科：（海上・海上・航空自衛隊の野防医科看護学及び自衛隊病院等に於いて所定の看護課程及び自衛官候補生訓練を受け、その後、海上・航空自衛隊（航空は若干名）の看護職一任訓練である野防医科看護士として自衛隊病院、診療所などで勤務することになります。）
備 考：卒業後1年未満で離職する場合は、卒業までの経費を償還しなければなりません。

（防衛医科大学校募集要項より引用）

**防衛医科大学校医学教育部
看護学科（自衛官候補看護学生）
黒田 悠里亜さん**

4月28日、本校ラーニングセンターに防衛医科大学校医学教育学部看護学科2年、黒田悠里亜さん（平成29年卒業）にお越し頂きました。

Q・看護学科に進もうと思った時期・理由を教えてください。

A・看護師になりたいと思ったのは、小学校4年生の時です。祖母が病気で入院し、その時の看護師さんがやさしく接してくれたことがキッカケです。中でも、自衛隊の看護学科に入ろうと思ったのは、お給料がもらえ、親に負担をかけないですむからです。さらに小学校6年生の時にテレビで看護師の災害派遣をみて影響を受けました。祖父が自衛官だったこともあり、自然と目指すようになりました。

Q・高校時代はどのくらい（何時間）勉強しましたか？

A・内部特進クラスに属していましたが、毎日の音楽部の練習などで高校1・2年生の時はあんまり勉強時間を確保できませんでした。勉強と部活の両立がとても大変でした。高校3年生の夏休みから本格的に受験勉強を始めて夏休み以降は一日5時間勉強しました。防衛大看護学科の受験日はほかの大学と比べて早く10月に行われます。受験科目は社会を除く4科目です。

Q・受験科目の中で何の科目を重視したほうがいいですか？

A・生物です。

Q・看護科に入って大変だったことは何ですか？

A・防衛大では必ず運動部に入らなければならず、両立が難しいです。授業、部活、夕食を終えると23時の消灯までは2時間しかないので授業の予習・復習が終わらないこともしばしばあります。就寝時間を超えても許可を得て勉強をしている人がいます。

この看護学科はまだ出来て2年くらいでまだ歴史が浅く、人数は75人程度で女性の割合が多いです。また、合格基準として身長が何cm以上の場合には体重が何kg以上何kg以下までという制限があります。（例えば1の1cmでは45kg〜67kg）

Q・国家試験に向けては、どんなことを勉強すれば良いのでしょうか。

A・今は人体の構造と機能、解剖学などについて勉強しています。

Q・看護学部に入って良かったことは？

A・看護師になるという同じ志を持つ仲間と共に、切磋琢磨できることです。

Q・実習の内容はどんなものですか？
A・11Mの高さから飛び降りる訓練があります。この高さは、人間が初めて恐怖を感じる高さだそうです。

Q・防衛大ならではの不思議な決まりとかはありますか？

A・もう、不思議な決まりだらけです。週番の交代をするにも、いちいち式があります。「愛国心」をテーマとした授業もあります。



取材班（右から）

- 高校2H 織田 宙君
- 高校1B 能勢 大和君
- 高校1H 木村 亮介君
- 黒田さん
- 高校2G 山岸 梨咲さん
- 高校2G 菅谷 舞さん

す。上下関係も厳しくお風呂場でも先輩に大きな声で挨拶をします。一日2回、点呼があり、国旗に向かって敬礼をします。

Q・学校内の雰囲気、設備などについて教えてください。

A・食事は3回合わせてびったり3000キロカロリーになるように栄養士さんが考えています。(通常20歳の女性は2000キロカロリー弱)訓練や部活で消費する分多くなるのです。



後記 初めは緊張しましたが、黒田さんが優しく声を掛けて下さったので、落ち着いてインタビューをすることができました。私も将来の夢が看護師なので現役の看護学科の先輩のお話を聞くことができてすごく嬉しかったです。(菅谷)

滝澤本店 店主 ご婦人

滝澤 昌枝さん



成田山参道唯一の酒蔵を持ち、名酒『長命泉』で名高い老舗滝澤本店。
成田祇園祭の翌週、7月11日、取材班3名でお店にお邪魔しました。

Q 成田で酒屋をすることに、どのような利点がありますか？

A お酒というのは、昔は晴れの日に飲まれていたもので、貴重なものでした。日常は、濁酒(どぶろく)というものが主流で、晴れの日には清酒というきちんと醸造して、ろ過して、澄み切ったお酒を使うということをしてきたわけです。このような清酒が日常的に飲まれるようになったのはだいぶ最近のようです。

気候という点に関しては、鹿児島、奄美、沖縄など暑い地方では主にアルコール度数が高い焼酎、北海道などの北よりでは日本

酒の流れのものを飲んでいたようです。少し涼しい所の方がお酒造りに向いているのですね。

9月ごろにお米ができて、10月から11月ごろに仕込みをし、1ヶ月かけて、蔵のタンクの中で新酒ができるわけです。そして、お正月には新酒を飲んでいただけるといっわけです。とはいっても、いまは、お酒は技術的にも発達して、高度な大吟醸なども造るようになりました。それらはお米から違いますから、もっと遅く2月ごろに造りはじめます。私たちは小さい蔵なので、毎年、南部杜氏(岩手県)の日本酒造りの専門(家集団)から蔵人に3人程度来てもらって、地元の人を足して5人程度にして、11月から3月までの5か月間で1年間に売ってお酒を造ります。

私たちの初代は、はじめ新潟から東京(当時は江戸)の新川(隅田川の近く)に出てきてそこで働いていました。その頃、成田山の出開帳(寺院の外に出向いて秘仏などを開帳すること)が江戸であり、成田を知ったのではないかと思います。正確な文献があるわけはありませんが。

お墓というのは、だいたい街のはずれにありますよね。この近くにも、南の陵墓とこのところ切れていたようです。そこで、お酒を造るには広い敷地が必要ですか

ら、町外れのここを選んで、酒屋をはじめたのだらうと思います。そのときに、昔は家庭ごと井戸で水を汲んでいましたから、この近くにあった井戸で水を汲んだところ、これでお酒を造ったらよいのではないかと思ひ、お不動様にお世話になりながら、信仰心を持ってお酒を作れるこの場所が、最適だったのではないかと思います。

そういう街でお酒を売り、お料理屋さん、といった昔は居酒屋さんのようなものだったのですが、そこにお酒を売ったりもしていました。鬼平犯科帳などを見ても、昔の街にはあまり大きなお料理屋さんなどはありませんね。

私は昭和18年生まれですけども、その頃は、お酒を売っているだけの小売屋さんにも卸させていたでいました。今お店の前に置いてある四斗樽に、毎朝お酒を、鏡(樽の上部)から詰めて、店員が小売店に荷車で運んでいくということをしていました。小売店では、その樽に飲み口(じょうろのようなもの)をつけて、一升瓶などに詰めていたわけです。鏡を「割る」というのは縁起が悪いので、私たちは鏡を「開く」といいます。(鏡開き)

Q 長い歴史の中で、受け継がれてきた伝統はありますか？

A お酒を造り続けてきたことが伝統だと

思います。

Q 様々な種類のお酒を扱っていますが、外国の方などにお土産などで人気なのはどれでしょうか？

A 今の時期ですと、夏に売り出す吟醸を「夏吟」として、少しさっぱりした味付けになるように蔵で調合(ブレンド)したりもします。このように、その時季にお勧めするのにふさわしいお酒を造りますので、お客様も、店頭でお勧めしたものに一番興味をもってくださいます。

Q なぜ酒屋を継ごうと思われたのですか？

A 今と違って昔は、自分で職業を選ぶということがありませんでした。家業を継ぐのが当たり前でしたから、違う職業には就けなかったのです。家業を継いで家をつなげていかないと従業員の人も困ってしまいますよね。昔は住み込みの人もいましたから。私の母の時代には、住み込みの従業員の一人が夜中に煙草の火を布団につけてしまい、燃えてしまったこともあったそうです。

中学を出てすぐ勉強に来るわけですからね。夜中にみんなでお話するなどの楽しいこともあったそうですが、そういうわけで、家業を継ぐというのは当たり前のこと

で、誰でも抵抗なくしていたと思いますね。



原料の酒米は、いろいろな種類があります。これらはお米を削って芯だけにしたものです。そうすることで、雑味が抜けます。

Q 今までで一番よくできたお酒はありますか？

A 国税局の鑑評会などで受賞したりしますと(平成二十八年 東京国税局酒類鑑評会 清酒燻審査部門にて優等賞を受賞など。その他の受賞履歴は長命泉公式ホームページを参照)、よかったと思ったりはします。しかし、人間と同じでお酒にも個性があるので、「あのときのあれが一番よかった」というのは、やはり難しいですね。常に最高のものを目指しています。

昔は「腐造」というのがあって、一度菌が入ったら、蔵がだめになってしまったりやなことがありました。今は、防御のやり方や温度管理などもしっかりしています。昔は、暖冬だと酸が入ってしまうということもありましたが、今は、蔵ごとのカラーに合わせて、平均的な環境に管理していますので、毎年それなりにできています。

Q 東京オリンピック・パラリンピックに向けて、どのようにPRしていきますか？
A 成田は、表を外国の方がたくさん歩いて、買い物もしてくださいるので、ヨーロッパや東南アジアの方々に合うようなお酒を造るにはどのようにすればよいか、常に考えています。今は、千葉県知事が東南アジアに出向いて、PRしたりもしています。私たちも、タイ、ベトナム、インドネ

シア、台湾などに出向いて、宣伝しています。東南アジアでは日本食レストランが高級らしいのですが、そういうところに持っていくのが一番喜ばれます。うちもまだ途中なので、よい結果がでたらまたお話しできると思いますが。

Q 外国人の方のために、英語ができる店員さんもいらっしゃるのですか？



A アメリカに行ったことがあり、英語が話せる営業の人がいます。店頭では、各自で勉強して対応しています。東南アジアに行く際も、英語のできる社員を連れていきます。

Q アルコール中毒者や、その対策について

どうお思われますか？

A 休肝日をつくるか、量を制限するとかが一般的にいられていますが、肝臓の強さが人によって違いますので、確実にこうすればよい、とはいいきれません。うちの主人はほとんど毎日お酒を飲みますが、スツッフの中にはお酒を飲めない人もいます。一人一人のお酒への強さに合わせて、楽しく飲むのが一番だと思います。ほどほどの量で飲むのが、酒屋としては、よいのではないかと思います。

TOKIOの山口元メンバーの事件もありましたよね。私もTOKIOを応援していたので、残念です、やはり家族が(酒量などを)コントロールしてあげることが大切ですね。

Q 学生のころ、お酒についてどう思っていましたか？

A 成人して、ビールがおいしいと思うようになったのは、私は20代の後半からでした。はじめは、ビールは苦くておいしくないなあと思ったりました。日本酒は「味を利く(利き酒)」ということをするのですが、子供のほうが舌も敏感なので、酒屋の子供は、親に「ちよっと味をみてごらん」と言われることがありました。そしてそのまま抵抗なく酒屋の道に進むのでしょね。私は、大人になってからも、お酒が大好き

でたくさん飲むというわけではありません。しかし、会合や宴席などでは、皆さんと一緒ににほどほどに飲みます。」と普通ですね。

Q どうしたら自分のやりたいことを見つけれられるのでしょうか？

A これは難しい質問ですね。いまは、インターネットなどからたくさん情報が入ると思いますが、あまり早い段階で自分に向いているかどうかを決めてしまうのは、いかがなものかと思います。「石の上にも三年」というように、少し辛抱してやってみて、それでもだめだったら他のものに変える、というのがよいと思いますね。私の孫にもいつも言うのですが、いやだと思っても、すぐに投げ出さずにやってみれば、「こんな思いがけないことがあった」ではこうやってみよう」となる場合もありますしね。すぐに「やりたいこと」を見つければ難しいと思います。

歌舞伎の役者さんは、幼いころからお稽古をして、歌舞伎以外の選択肢はないそうです。それでもやはり高校生くらいになるときに、お父さんが、「お前はこの道でいいか」と訊ねるそうです。今活躍している役者さんも、「嫌だったらいいいよ」と言われても、自分の身近にあり、実力を発揮できるこの職業がやりたいということ、その道に進んだわけですよ。

ですから私は、辛抱が大切なのではないかと思います。

Q 今までで一番つらかったことはありますか？また、それをどう乗り越えましたか？

A 私も75年生きてきましたから、つらいことはありました。しかし、誰も助けてくれないですから、自分で考えて乗り越えたいと、次に進めないと思いました。

50歳を過ぎたころに、20歳くらい若返りたいなあと思いました。50歳くらいになると、いろいろなことがわかってきますから、その状態で、30代に戻れたら、もっといろいろなことができると思っただけです。

今になってみると、後悔もあります。しかし、私の知っていることで、みんなにアドバイスしたいと思い、説教がましくなく、何気なく、「私はこうしたけれど」と伝えます。それをきいてくださる方なら、参考にしてくださいませ。何か訊かれたときは、それに合わせて、自分の考えをお話しています。今は百歳の時代だそうですから、私たちも家業のお手伝いができます。そのおかげで、今も元気でいられますね。皆さんも、こういうことを一生懸命聞いてくださって、ありがとうございます。自分の職業をしっかり見極めて、頑張ってくださいと思います。

Q 成田高校生に一言お願いします。
A みなさんとはとても真面目ですし、環境は最高です。あまり地元の方が多くないようですが、せっかく成田に3年、6年、12年いらっしやるわけなので、成田をこうやって調べて知っていただいで、門前町成田を好きになっていただけたらと思います。そして将来、何か成田に関わることをやっていただけたらと思います。



取材班（右から）

- 図書部長 吉田
- 高校3E 小池 純輝君
- 高校1F 佐久間 宗土君
- 高校1F 高橋 知希君
- 長命泉 滝澤さん

☆留学体験記☆



【留学で学んだこと】

高校1年F組 石井 桜優

私は高一の8月から高一の6月までアメリカのワシントン州に留学していました。日本と全く違う環境の中で感じたこと、経験したことをシェアできたらな、と思います。

まず一つ目に伝えたいことは、現地の人々はみんな、個々の発言や行動がはっきりしていて自分がしていることに自信をもっていただいていることです。今まで田舎で

育ち、なんとなくこの学校に入り、みんなに合わせて何も考えずにただ過ごしてきた私にとってそれはすごく新鮮なものでした。例えば、私のホストシスターはハロウィンに恐竜の仮装をして学校に行きました。日本人の私からしたら、みんなしていないの？あなたはどうしてそんな変なことをするの？といった感じでした。しかし、彼女に聞いてみると、だって面白いじゃん！と自信満々に答えてくれました。周りからどう思われようと気にせず、強い自分を持っている。アメリカ人のそのような特徴はすごく素敵なところだと思います。

二つ目は、チャンスは自分で掴みに行くことが大切だということです。当たり前のように聞こえるかもしれませんが一年前の自分はこれが足りませんでした。今までの15年間、周りの環境が恵まれていたおかげもあり、物事を全て自分中心に考えていました。だから、自分から動かなくてもチャンスが回ってくる、私にとってそれが当たり前で、自分からチャンスを掴むために頑張るなんてお世辞にもしたことがありませんでした。留学中、私はずっと周りの環境に恵まれていないと思っていました。しかし、よく考えたときに、それは自分が待っていただけだったからだと気が付きました。その後、少しずつ自分から行動を起こしてみると、つまらなかつた生活が楽しいもの

に変わっていききました！「待っていては何も変わらない。」この言葉の本当の意味がわかった気がします。

その他にも、この10か月を通してたくさんのことを体験し、学ぶことができました。日本の家族や友達と離れ、全く違う環境に飛び込み、自分一人で全てをやらなければいけない環境は決して楽ではありませんでした。でも、留学を終えてみて、あの時思い切って留学することにして良かったなと感じています。高校生という比較的若い時期に留学したことで、英語はもちろん異文化適応能力など、いろいろなことを身につけることができました。もし留学に少しでも興味がある人がいるならば、ぜひ挑戦して欲しいです。最後に、今までサポートして下さった皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。



おススメ図書

図書部長 吉田純子



『ひとはなぜ服を着るのか』

鷺田 清一 著 NHK出版発行
請求記号 383.1-7



『自分のもの』とされている身体は、実は知覚し得るのはその表面の、それも一部である。それを刺激し、輪郭を与え、また時に壊して違う自分をつくるのが服である。

《前期役員お疲れさまでした!》

当委員会の前期役員は左記の通りです。学校図書館の充実と円滑な運営に努力し、積極的に活動してくれました。尚、9月中に役員改選を行い、後期役員が決定する予定です。

- ★ 図書委員長…高3 E 小池 純輝
- ★ 副委員長…高3 B 天野 胡桃
- ★ 副委員長…高2 H 山口 駿一
- ★ 副委員長…高1 F 佐久間 宗士

■ 展示班

- 班 長…高3 G 丹羽 壘斗
- 副班長…高2 E 星 魁人
- 副班長…高1 G 坪井 真帆

■ 蔵書点検班

- 班 長…高3 F 森 富太郎
- 副班長…高2 A 小豆畑 照清
- 副班長…高1 F 竹尾 陽香

■ 図書館だより班

- 班 長…高3 H 小澤 俊輔
- 副班長…高2 H 織田 宙
- 副班長…高1 H 木村 亮介



昨年度年間貸出冊数

中学生利用冊数	7,435冊
高校生利用冊数	5,222冊
職員等利用冊数	671冊
合計	13,328冊

本年1学期貸出冊数(7月20日現在)

中学生利用冊数	3,485冊
高校生利用冊数	1,917冊
職員等利用冊数	123冊
合計	5,525冊

《学校図書館の発行物》

- 1、『Bibliothek』
新着図書からお薦めの図書を紹介
◆ 毎月2回発行(各H R & 図書館掲示)
- 2、『月間利用統計』
各クラスの貸出状況を報告
◆ 毎月発行(各H R 掲示)
- 3、『図書館だより』
テーマに沿って図書委員が取材
◆ 毎年9月発行(全校に配布)